

経営行動科学学会ディスカッション・ペーパー執筆・投稿規定

編集委員会

経営学ならびに行動科学の研究成果の発信のため、経営行動科学学会ディスカッション・ペーパーを発行する。

- (1) 本規定は編集委員会により運用され、必要に応じて修正される。
- (2) ディスカッション・ペーパーは PDF ファイル形式により経営行動科学学会のホームページ上で公開される。
- (3) 申請者は、以下の様式に従い、編集委員会にファイルを提出する。

(A) フォーマット

- ① 表紙は 2 枚作成する。1 枚目には、題名・著者名・所属機関の順に日本語の場合は日本語、英語の場合は英語で記載する。両方の表記方法を併用してもかまわない。題名と著者名・所属機関の間は、数行あけて記載すること。また、ファックス番号、メールアドレス等を記載してもかまわない。2 枚目には、日本語の場合は日本語、英語の場合は英語で、アブストラクトを作成する。
- ② 発行タイトルは、編集者が表紙 1 枚目の左上に記入する。日本語の場合は、日本語。英語の場合は英語とする。発行番号については、編集者が表紙 1 枚目の右上に記入する。たとえば、発行年が 2007 年で 3 番目の受理の場合、日本語論文では、JAASDP2007-3J、英語論文では、JAASDP2007-3E と起番する。
- ③ 本文の 1 ページの文字数：横 32 文字、縦 35 行（日本語）。英語は、縦 26 行。本文以外の設定は、任意。
- ④ 文字の大きさ：題名 14 ポイント、著者名・所属機関・本文等 10.5 ポイントから 12 ポイント。文字の種類については、日本語の場合は明朝体ないしゴシック、英語の場合は Times New Roman ないし Century が望ましい。
- ⑤ 余白：上 25mm、下 25mm、左 25mm、右 25mm。
- ⑥ ページ番号：ページ下部中央に、本文 1 ページ目から付ける。

- ⑦ 注記については、脚注、文末注が選択できる。
 - ⑧ 引用・参考文献文の表記方法については著者の使い慣れたスタイルで良い。
 - ⑨ 図・表については、文末に一括掲載し、本文中には、「———図
1 挿入———」といった表記をし、前後を1行程度空ける。
- (B) 全体の長さについては特に制限を設けないが、雑誌論文として常識の範囲を超えない程度にとどめることが望まれる。
- (C) その他の執筆方法については、経営行動科学学会執筆規定ならびに執筆要綱に従う。
- (D) 提出は完成原稿とし、校正は行わない。
- (4) ハードでの印刷物を希望する場合は、執筆者は、自己の責任・負担で成果物の製作、発送および管理を行うものとする。但し、フォーマットについては、(3)に掲げる編集委員会が指定する形式に従う。
- (附則) 本規定は、2007年3月31日より施行する。